

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
築 雅之			
B（経営学科）	S（専門科目）	SM（演習）	402（専門ゼミ・卒業論文等）

授業のねらい（概要）	経営学研究の実践的な方法や最新の知識や手法、自ら学び続ける態度や課題解決力と自発的、創造的な学修態度を育てることを目的とする。 学生自ら興味や関心のある経営の諸活動に関する研究課題を設定するとともに、各自の研究課題に則した研究計画の策定から、各自の研究計画に基づく資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、自己の考えを展開する能力を高めるとともに、研究成果に関する成果発表に向けた指導を行う この担当者の開講科目では主に、経営情報、情報技術、情報システム、情報ネットワーク、情報教育の研究分野を題材として、この分野の実務者、技術者、研究者を想定した基礎的な素養もあわせて育成する。
授業計画	漠然と形になりつつあるテーマの妥当性を検証しつつ練り上げ、また研究計画そのものも、より有効かつ実現可能なものとしてゆく時期である。そのため、以下の＜1＞＜2＞＜3＞を行う。 ＜1＞以下を、学生の希望するテーマにあわせて構成し、ワークショップ等の形式で学修する。 (1) 論文の構成、引用文献を利用した論旨の展開 (2) 事例研究の手法、英文記事・論文、公庁情報を含む文献調査の手法 (3) 論文形式の書き方、執筆用・文献管理用ソフトウェアの利用 ＜2＞以下のトレーニングを毎回行う。 (1) 各自のテーマに関する文献（学会誌、学会発表、専門家向け書籍、記事を想定）の要約・発表。 (2) 文献調査、論文構成の検討を継続（中間発表会を実施） (3) 期末レポート（研究テーマに関する先行研究のレビューに加え、研究テーマの一部分や事例に取り組んだもの、A4ワープロ打ちで15枚程度）の個別指導 ＜3＞ ＜1＞＜2＞のまとめとして期末レポートを完成させる 予習（時間）：毎回の記事要約 教員の指示に従い、研究計画の検討、文献調査、サマリー等、期末レポート準備（180） 復習（時間）：要約記事の確認 教員の指示に従い、研究計画の修正、文献一覧等の更新、期末レポート修正（60）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP(商学部)の2項目を意識した科目となっている。 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP(経営学科)の1項目を意識した科目となっている。 2. 経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力 【身に付くスキル】 生涯学習力・論理的思考力
到達目標	(1) 自らの研究計画を、意義、方法、倫理の観点から説明することができる。 (2) 自らのテーマにそった和文及び平易な英文の文献調査ができる。 (3) 研究計画に基づき研究に着手し、得られた知見を基に教員の指導の下、研究計画を改善することができる。 (4) 自らのテーマについて重要な書籍や論文を要約し、論点をまとめることができる。 (5) それぞれのテーマに関する発表に関する質疑応答ができる。 (6) 先行研究をまとめ、各自の考えを展開した文章を18000字程度にまとめることができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業時間内あるいはMellyでの文書で全体的な解説を行うとともに、必要に応じて個別への指示を行う。 特に研究計画書の執筆、レジュメ、スライド作成、口頭発表についてのコメントと個別指導は随時行なう。
履修上の注意	大学での学びのまとめとして卒業論文に取り組む覚悟と気概をもってほしい。 また、研究や論文執筆は、個人のみの方でできるものではなく、関心を同じくする同僚とのディスカッションやアドバイスがあって、初めて可能になるものである。自らの研究に加えて、同僚ゼミ生の研究にも関心を持ち、互いにより学びができる環境を作るよう心がけてほしい。そのためにも、無断での欠席は極力避けること。発表者である同僚に「あなたの研究は聞く価値がない」とメッセージを発しているも同然だからである。
成績評価の方法・基準	ゼミ活動における発表・相互コメント・課題など65%、最終課題35%。
教科書	「最新版 大学生のためのレポート・論文術」（講談社現代新書） ISBN番号：4065135028 著者名：小笠原喜康 出版社：講談社 価格：800円(税抜き)
参考書・教材	
備考	講義科目（ゼミ形式）
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyでの個別連絡を併用。Line、Gmail等は原則として使用しない。